

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月29日

上場取引所 東 名

上場会社名 養命酒製造株式会社

コード番号 2540

URL <http://www.yomeishu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄

TEL 03-3462-8138

四半期報告書提出予定日 平成25年1月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,564	3.0	1,536	8.5	1,746	7.8	1,026	24.7
24年3月期第3四半期	9,284	△2.5	1,415	124.1	1,620	93.4	823	54.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	34	15	—	—
24年3月期第3四半期	27	39	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	34,684	90.2	31,285	90.2		
24年3月期	34,081	90.6	30,864	90.6		

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,285百万円 24年3月期 30,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	18.00	18.00	—
25年3月期	—	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,750	1.4	1,240	△9.1	1,460	△7.9	920	5.5	30	62

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	33,000,000株	24年3月期	33,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,956,947株	24年3月期	2,956,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	30,043,468株	24年3月期3Q	30,045,822株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	7
(1) 生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として、一部に緩やかな景気の回復傾向が見られたものの、欧州債務問題の長期化や世界景気の減速に対する懸念等、引き続き先行き不透明な状況となりました。

当社の関連業界におきましても、業種・業態を越えた企業間競争の激化や生活防衛意識の高まりによる生活者の節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とし、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」や「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」を主要戦略とする中期経営計画（平成24年4月から平成27年3月まで）の各施策に取り組んでおります。また、その施策の一つとして、平成25年7月の事業開始に向け、埼玉県鶴ヶ島市にある社有地を有効活用した太陽光発電事業の準備に取り組みました。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したことにより、売上高は9,564百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益は1,536百万円（前年同期比8.5%増）、経常利益は1,746百万円（前年同期比7.8%増）、四半期純利益は1,026百万円（前年同期比24.7%増）と増収増益となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

①養命酒関連事業

主力商品「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効率的な販売促進活動を展開しました。テレビ、新聞、雑誌、インターネット等の各種広告媒体において共通して「『女は7の倍数、男は8の倍数』の節目年齢における養生」を訴求したことに加え、「冷え」と「疲れ」をテーマとしてエリア毎の季節を意識した効果的なテレビスポット広告を実施し、これらの広告と連動した店頭における販売促進活動やウェブプロモーションを強化しました。

「ハーブの恵み」につきましては、手軽に楽しめる缶タイプ「ハーブの恵み スパークリング」を加え、「香りがおいしいお酒」という酒類における新たな価値を訴求し、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット、交通広告等によりプロモーションを展開しました。また、下期より従来のマスメディアによる広告活動を見直し、特定エリアに集中した折込広告とハンガー什器による販売促進活動に加え、小売店とのタイアップキャンペーン等を実施し、効率的かつ効果的な店頭販売促進活動に取り組みました。

海外におきましては、東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、「養命酒」の理解と知名度の向上や効率的な販売促進活動に努めました。新たに各国別のウェブサイトの活用や各種キャンペーンを実施するとともに、商戦期である春節に向けた販売促進活動に取り組みました。また、輸出領域の拡大を目指し、市場環境に合わせた商品の輸出に取り組む中で、「ハーブの恵み」を商品名「MEGUMI」としてテスト販売を実施し、現地ニーズの把握に努めました。

インターネット通信販売サイト「養命酒本舗」につきましては、平成24年11月に取扱商品を拡充し、「Yomeishuオンラインショップ」としてリニューアル開設いたしました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブの恵み」、「家醸本みりん」、「ドリンク剤」、「ミネラルウォーター」、「Yomeishuオンラインショップ」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は9,188百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、生活者の皆様のニーズや季節に応じた商品開発、信州の素材を活かした料理メニューの充実やサービスの向上に努めました。開業2周年イベントをはじめ、夏季の観光シー

ズンには諏訪湖畔の立地を活かしたイベント等を開催し、冬季には地元のお客様のご利用を促進する活動に取り組み、集客に努めました。また、期間限定での首都圏における催事出店、オリジナル商品の通信販売、小売店への卸売等、販売チャネルの拡充に努めました。

以上の結果、「くらすわ」の売上に駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」の売上を合算いたしました。施設運営事業の売上高は309百万円（前年同期比9.3%増）となりました。

③その他

不動産賃貸事業の売上高は、本店ビルのテナント賃貸収入減などにより、67百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前期末に比べ603百万円増加し、34,684百万円となりました。これは主にたな卸資産が170百万円、減価償却等により有形固定資産が173百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が1,252百万円増加したことによるものであります。

負債は、前期末に比べ181百万円増加し、3,399百万円となりました。これは主に未払法人税等が148百万円、賞与引当金が136百万円それぞれ減少した一方で、流動負債のその他に含まれる未払費用が400百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末に比べ421百万円増加し、31,285百万円となりました。これは主に四半期純利益1,026百万円の計上と配当金540百万円の支払いにより利益剰余金が485百万円増加したことと、その他有価証券評価差額金が63百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期累計期間までの業績は概ね堅調に推移しておりますが、第4四半期におきまして、当初計画通りの販売促進活動の実施に加え、新商品・新事業に係る費用を見込むことから、平成24年10月29日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益へ与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,126,565	3,275,534
売掛金	2,306,853	3,559,519
有価証券	3,199,196	2,201,268
商品及び製品	333,225	251,153
仕掛品	186,268	136,134
原材料及び貯蔵品	406,395	367,613
その他	213,515	435,150
流動資産合計	8,772,021	10,226,374
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,697,560	3,562,282
その他(純額)	3,144,291	3,105,843
有形固定資産合計	6,841,851	6,668,126
無形固定資産	41,457	24,146
投資その他の資産		
投資有価証券	12,439,873	12,559,636
長期預金	3,900,000	3,400,000
その他	2,093,017	1,813,388
貸倒引当金	△7,066	△7,066
投資その他の資産合計	18,425,824	17,765,958
固定資産合計	25,309,133	24,458,231
資産合計	34,081,155	34,684,605
負債の部		
流動負債		
買掛金	263,186	256,504
未払法人税等	424,510	275,971
賞与引当金	241,346	105,021
その他	1,312,300	1,800,561
流動負債合計	2,241,343	2,438,059
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	927,382	912,638
固定負債合計	975,732	960,988
負債合計	3,217,075	3,399,047

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	30,943,343	31,428,673
自己株式	△2,883,975	△2,884,423
株主資本合計	30,386,047	30,870,930
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	478,031	414,627
評価・換算差額等合計	478,031	414,627
純資産合計	30,864,079	31,285,558
負債純資産合計	34,081,155	34,684,605

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,284,839	9,564,915
売上原価	3,068,118	3,092,942
売上総利益	6,216,720	6,471,973
販売費及び一般管理費	4,800,812	4,935,836
営業利益	1,415,908	1,536,136
営業外収益		
受取利息	38,525	36,497
受取配当金	160,402	167,614
その他	20,213	18,627
営業外収益合計	219,142	222,739
営業外費用		
支払利息	13,781	10,852
その他	564	1,049
営業外費用合計	14,345	11,901
経常利益	1,620,704	1,746,974
特別利益		
固定資産売却益	—	949
特別利益合計	—	949
特別損失		
固定資産除却損	852	4,949
減損損失	—	177,924
投資有価証券評価損	303,549	—
特別損失合計	304,402	182,873
税引前四半期純利益	1,316,302	1,565,050
法人税、住民税及び事業税	512,000	582,000
法人税等調整額	△18,771	△43,066
法人税等合計	493,228	538,933
四半期純利益	823,073	1,026,116

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	当第3四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	前事業年度 自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
養命酒関連事業	8,911,564	9,188,678	11,129,686
養命酒	8,562,946	8,880,907	10,663,279
(うち輸出分)	(395,668)	(338,940)	(466,900)
その他	348,617	307,771	466,407
施設運営事業	282,965	309,205	345,331
その他	90,309	67,031	114,003
合計	9,284,839	9,564,915	11,589,021

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。